

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	市民部文化振興担当 (美術館)
2 協議事項 (案件名)	令和8年度新浜松市美術館の基本構想策定について
3 背景・現状 (現状把握 できる統計 数値など)	・美術館は1971年の開館から54年が経過。 ・常設展示室がなく約7,000点の優れた館蔵品を十分に活用できていない。 ・来館者アンケートや美術館協議会において、カフェ等の休憩スペース、市民ギャラリー、隣接駐車場などの設置要望が多い。 ・2023年5月議会において黒田議員から「新美術館構想策定」について問われ「中・長期的な展望のもと新美術館の在り方を検討する」と市長答弁。 ・2025年5月議会において黒田議員から「新美術館構想策定」について問われ「庁内検討会議における検討を踏まえ、整備基本構想を作成し、必要な事業を進める」と副市長答弁。 ・2025年5月議会において平野議員から「新美術館整備地」について問われ「旧はまホール跡地は有力な候補地」と市長答弁。 ・2025年6月副市長レビュー（春）において「庁内検討会議において必要な検討を進め、基本構想の内容について整理すること」とされた。
4 検討経過・ 課題	【検討経過】 ・2023年11月副市長レビューにおいて、関係各課と協力体制を構築し、規模・機能など、浜松市にどのような美術館が必要か協議する庁内会議を立ち上げ、新美術館の在り方について、検討を進めている。 【基本構想の内容】 ○在り方・コンセプト ・本市の文化発信の拠点とするとともに、市民が文化や芸術と出会い、交流する場としての役割をもたせる。 ・浜松市美術館は市民へ様々なジャンルの芸術・文化を広く提供する施設であり、今後も継続していく方向。（人物や芸術・文化の分野を限定しない） ・市内外から集客できる美術館を目指す。 ○施設規模 ・新美術館に必要な機能・設備を踏まえた面積規模を算定する。 ・今後の収集見込や、館蔵作品を適切な状態で保管した場合の収蔵庫面積を算定する。 ○その他 ・整備候補地の検討とともに、市内施設等との機能・運営面での連携の方策や民間活力導入の可能性について検討する。
5-1 方向性 の提案	・新美術館基本構想策定業務について予算要求を行う。 ・基本構想においては、新美術館としての在り方・コンセプトの方向付けや望ましい整備候補地の比較検討、開館から20年30年先を見越した設備・機能及び市内外から集客できる展覧会の開催に必要な面積規模等について整理する。
5-2 上記の 方向性決定 に向け議論 する事項	・基本構想の内容について ・基本構想にかかる概算経費について ・基本構想及び基本計画策定スケジュールについて

6 結果	☒ 提案どおり進める ☐ 提案内容を一部見直して進める ☐ 再度、調査研究等を行い検討 ☐ その他	具体的内容
		・スケジュールについて検討すること。 ・美術館の機能、運営面の強化について検討すること。
7 その他		